

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 1 月 19 日作成)

小委員会名	海外組積造耐震化小委員会	主 査 名：花里利一 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (壁式構造運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：勅使川原正臣
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>国内外の研究機関、国際機関等による活動とその成果に関する情報と知見の共有化を図りつつ、以下の目的で活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 途上国組積造住宅の地震災害軽減化を目的とした英文技術資料の出版。 ・ 海外の既存組積造を対象として途上国住宅建築、歴史的建造物、組積造帳壁を対象とし、地震国における組積造構造の耐震安全性を確保するための補強技術に関する実用的な英文技術ガイドの作成。 ・ 災害委員会と連携した、組積造建物を主とする海外巨大地震災害調査。途上国住宅に関する技術資料や既存組積造の補強に関する技術ガイドの活用。 <p>初年度：途上国組積造住宅の地震災害軽減化を目的とした英文技術資料の出版に向けた編集。 2 年度：初年度に編集した英文技術資料の出版。既存建物の耐震補強技術の国内外実例データベースの作成。補強効果に関する評価指標の提示と資料収集。 3 年度：既存組積造建造物の耐震補強法に関する英文技術ガイドの作成方針決定と原稿の執筆作業。 4 年度：既存組積造建造物の耐震補強法に関する英文技術ガイドの編集。大会等 P D の開催による成果の公表、出版に向けた作業の開始。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：花里利一 (三重大学) 幹事：黒木正幸 (崇城大学)、前島彩子 (明海大学)、山口謙太郎 (九州大学) 委員：今井弘 (防災科学技術研究所)、菊池健児 (大分大学)、北茂紀 (北茂紀建築構造事務所)、真田靖士 (大阪大学)、谷昌典 (京都大学)、崔琥 (東京大学)、中川貴文 (国土技術政策総合研究所)、中村友紀子 (千葉大学)、檜府龍雄 (国際協力機構)、松崎志津子 (千葉大学)、箕輪親宏	
設置 WG (WG 名：目的)		
2016 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 英文技術資料の図表等の著作権の承認に時間がかかっており、HP 上での公開が遅れている。 2. ネパール地震被害復興調査など災害調査を実施するとともに、海外の専門家を招聘し、委員会で意見交換を行なった。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 出版 (無料配布) の方法について、学会として議論が必要であろう。 2. 住宅のみならず、歴史的建造物や町並みの保全に有用な技術資料の作成が課題である。